

都道府県単位化から一年



分かりやすい「国保」のお話し

現状と今後を検証し、求められる運動を考える学習会

日時：**3月1日**（金）
18:30開場 19:00開会
会場：ラポール京都
第一会議室
講師：長友薫輝氏
（三重短期大学教授）

《プロフィール》

三重県国民健康保険運営協議会委員
三重県行政不服審査会委員
三重県社会福祉審議会委員
日本医療福祉政策学会副会長 等

【著書】

『新しい国保のしくみと財政』
『いま地域医療で何が起きているのか』
『市町村から国保は消えない』
『長友先生、国保って何ですか』 等



正念場を迎える国保

国保都道府県単位化から1年を迎えようとしています。京都では、単位化への移行と合わせた国保料（税）の値上げは、私たちの運動や世論の力もあり、4自治体にとどまりましたが、全国では23%（一人当たり保険料では51%）の市町村で保険料率の引き上げが行われ、高すぎる国保料（税）に拍車がかかっています。

また、市町村が国保料（税）を引き下げるために独自の努力で行ってきた「一般会計からの法定外繰り入れ」に対して、削減と廃止の圧力が強まっています。

今、自治体には、国の悪政に従うのか、住民生活を守るために“防波堤”となって国保引き下げの独自施策を行い、国に対してしっかり物を言うのかが問われています。

今回の学習会は、国保について多くの著書を出され、市民とともに運動に携わってこられた長友先生を迎えて行います。「ユーモアがあって、分かりやすく楽しい」と好評の長友先生の学習会にぜひご参加ください。

